

平成 28 年 2 月 28 日、スラバヤ市にて在留邦人を対象とした感染症に関する市民講座を開催しました。

インドネシア国スラバヤ市 において在留邦人を対象に感染症に関する市民講座（14:00ー15:30、参加者 18 名）を開催しました。まず、感染症研究国際展開戦略プログラム（J-GRID）代表者（神戸大学大学院教授）の森康子先生に、「ヘルペスウイルス」についてお話しいただきました。9 種類のヘルペスウイルスが存在し、我々の生活に密に関わっていることなど、クイズを交えながらわかりやすくお話しいただきました。続いて神戸大学大学院准教授の亀岡正典先生には、昨今話題のデング熱やジカ熱等の「蚊」によって媒介される感染症についてお話をいただきました。インドネシアでは身近なデング熱の分布状況など当地に則した内容をお話しいただきました。講演終了後には御参加いただいた方々からヘルペスウイルス感染症に対する治療法やデング熱に対するワクチンや治療薬について、今後の展開などの質問がありました。今後もより多くのスラバヤ在住の皆様へ情報を発信していけたらと思います。

本市民講座はアウトリーチ活動の一環として行われました。

